

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	シマジンフロアブル	グラメックス水和剤	ウェイアップフロアブル	ディクトラン乳剤	イデトップフロアブル	ハイメドウフロアブル	
一般名	CAT	シアナジン	ベンディメタリン	ジチオピル	トリアジフラム	カフェンストール	
有効成分含有量	42%	50%	45%	32%	30%	40%	
メーカー	(原体)	シンジェンタ	アグロカネショウ	BASF	コルテバ	エス・ディー・エス	
	(登録)	シンジェンタ	アグロカネショウ	BASF	コルテバ	エス・ディー・エス	
試験名		SKH-01	ベンディメタリンSGフロアブル	MON-151	IDH-1105	CH-900フロアブル	
登録年月日	昭和53年6月22日	昭和58年3月29日	昭和63年2月16日	平成3年4月1日	平成9年11月4日	平成10年10月28日	
登録番号	13952	15443	16959	17811	19758	20053	
登録上	作物名	日本芝、ティフトン	日本芝	日本芝、西洋芝(ハーフ・ミューダグラス)	日本芝、西洋芝(ケンタッキー・ブルーグラス)	日本芝	日本芝、日本芝(コウライシハ)*
	雑草	畑地一年生雑草	一年生雑草	畑地一年性雑草(キク科雑草を除く)	日本芝:一年生雑草・一年生イネ科雑草・ヤハズソウ、西洋芝:一年生雑草	一年生雑草	一年生イネ科雑草、ヒメクグ*
	使用時期	雑草発生前	春期雑草発生前、秋冬期雑草発生前	芝生育期(雑草発生前)	芝生育期(雑草発生前)、春夏期芝生育期(雑草発生前)(イネ科)、春夏期芝生育期(ヤハズソウ発生前)	芝生育期(雑草発生前～発生前)	雑草発生前
	薬量	0.2~0.3ml/m ²	0.2~0.4g/m ² (春期)、0.05~0.2g/m ² (秋冬期)	0.4~0.9ml/m ²	0.075~0.3ml/m ² 、0.075~0.15ml/m ² (イネ科)、0.1~0.2ml/m ² (ヤハズ)	0.075~0.15ml/m ²	0.25~0.5ml/m ²
	水量	0.25~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌処理	全面土壌処理	全面土壌散布	散布	全面土壌散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット5,000以上	普:マウス1,028~1,096	普:ラット10,000以上	普:マウス5,000以上	普:マウス・ラット>5,000	普:ラット・マウス>5,000	
魚毒性TLm (ppm)	コイ40以上	A:コイ34.5以上	B:コイ0.95(原体)	コイ3.15	B:コイ11.2(48h)	B:コイ3.8(96h)	
水溶解度	5	171	0.05	1.38	7.14	2.5(20℃)	
半減期		13~34日	50日(火山灰砂壤土)	47日(GL)、35日(SL)	6~13日(圃場)		
雑草スペクトラム	イネ科、広葉広範囲	イネ科、広葉広範囲	イネ科、広葉(キク科除く)	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科雑草>広葉雑草(キク科を除く)	
樹木等への影響	無	杉・檜苗木登録有	安全性大	薬害無し	ドリフト注意	特になし	
洋芝への影響	ティフトン以外は強	強	(生育抑制)	かなり安全	使用しない	使用しない	
作用機作	光合成阻害	光合成阻害	細胞分裂阻害及び伸長阻害	根部>幼芽部接触型土壌処理型	根部・幼芽部>茎葉	細胞分裂阻害	
効果	発現	1週間前後	3日位				
	完成	約2週間	10日				
	残効	40日±	30~40日	120日	120~180日以上	90~150日程度	100日程度
	芝安全性			安全性大		日本芝への安全性大	日本芝への安全性大
流通	日産化学、理研グリーン	アグロカネショウ	BASF	丸和バイオケミカル	エス・ディー・エス、ニチノー緑化、日産化学	日産化学	
包装	1L×10	200g×50	1L×10	500ml×10	500ml×4	500ml×12	
A価¥/kg.L	7,654	11,445	12,012	37,130	43,000	14,700	
¥/m ²	1.5~2.3	0.6~4.6	4.8~10.8	2.8~11.1	3.2~6.5	3.7~7.4	
備考	水質汚濁性農薬の指定					根に影響が少なく芝張り直後使用可	

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ハブーン乳剤	バイザー水和剤	フルハウスフロアブル	タフラー乳剤80	マックワンフロアブル	ウェーブ顆粒水和剤	
一般名	アラクロール	ジチオピル	オキサジクロメホン	ブタミホス	クミルロン	カフェンストロール レナシル	
有効成分含有量	43%	40%	30%	80%	45%	45% 25%	
メーカー	(原体)	日産化学	コルテバ	バイエルクロップサイエンス、全農	住友化学	丸紅	エス・ディー・エス、デュボン
	(登録)	日産化学、理研グリーン	コルテバ	エンバイロサイエンス、全農	住友化学	丸紅	クミアイ化学、理研グリーン
試験名		DAH-981	RYH-105	KNG-941	MAC-1フロアブル	KUH-007	
登録年月日	平成10年12月4日	平成12年6月29日	平成12年8月15日	平成14年3月4日	平成14年7月30日	平成15年12月3日	
登録番号	20059・20060	20396	20411	20781	20861	21138・21139	
登録上	作物名	日本芝、日本芝(コウライシバ)、西洋芝(ケンタッキーブルーグラス)*	日本芝、西洋芝(ブルーライ)	日本芝	日本芝(コウライ・ヒメコウライ)	西洋芝(ヘント・ブルー・パレニアライグラス)	日本芝、日本芝(コウライ)
	雑草	一年生雑草、ヒメクグ(コウライシバ)	一年生イネ科雑草、一年生雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草(キク科を除く)、ベントグラス、ブルーグラス*	スズメノカタビラ、メシバ	一年生雑草、ヒメクグ(コウライ)
	使用時期	春夏期雑草発生前、春夏期ヒメクグ発生前～発生初期・秋冬期雑草発生前(コウライシバ)	春期雑草発生前、秋期雑草発生前	雑草発生前、芝生育期	春期・秋期芝生育期(雑草発生前)、芝生育期*	芝発芽後～生育期(雑草発生前)、芝生育期(雑草発生前)	雑草発生前～生育初期(3葉期まで)、春夏期芝生育期(ヒメクグ発生前～発生初期)
	薬量	0.6～1ml/m ² 、0.6～1.2ml/m ² (コウライシバ)	春期0.05～0.1g/m ² 、秋期0.05～0.2g/m ²	0.075～0.15ml/m ²	イネ科春期0.3～0.6、秋期0.35～0.55ml/m ² 、ヘント・ブルー*0.6～1.2ml/m ²	1～2ml/m ²	0.2～0.4g/m ²
	水量	0.25L/m ² 、0.2～0.3L/m ² *	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.25～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌処理	全面土壌散布	土壌全面散布	全面土壌処理	全面土壌処理
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット1,000(製剤)	普:ラット♂♀>5,000	普:ラット・マウス>5,000	普:ラット♂1,070・♀845	普:マウス・ラット>5,000	普:ラット>2,000	
魚毒性TLm (ppm)	B:コイ10.4(96h)(製剤)	コイ55(48h)	コイ>1,000	B:コイ2.39	A:コイ>50(96h)	A:コイ3.62(LC50)	
水溶解度		1.38	0.15	6.2	0.879(クミルロン)	2.4(カフェンストロール)、6(レナシル)	
半減期						4～11日(カフェンストロール)約30日(レナシル)	
雑草スペクトラム	一年生雑草、ヒメクグ(コウライシバ)	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科	キク科を除く一年生	カヤツリ科	イネ科、広葉	
樹木等への影響	特になし(直接散布を避ける)	安全性大	安全性大		特になし	一部樹種に影響有	
洋芝への影響	薬害の恐れ有り	かなり安全	薬害おそれ有り	使用しない	薬害無し	寒地芝へは影響有	
作用機作	脂肪酸合成阻害	細胞分裂の阻害	ジベレリン合成阻害他	細胞分裂の阻害	根部の細胞分裂及び細胞成長阻害	タンパク質合成阻害(カフェンストロール)、光合成阻害(レナシル)	
効果	発現						
	完成						
	残効	約60日	120～180日以上	120日以上		90～180日程度	90～120日
	芝安全性	日本芝には安全	安全性大	安全性大		日本芝・洋芝への安全性大	日本芝・ハミューダグラスに安全
流通	日産化学、理研グリーン	丸和バイオケミカル	エンバイロサイエンス	レインボー薬品	各地域代理店	理研グリーン	
包装	500ml×20、1L×10	500g×4	500ml×2	1L×10	1L×6	500g×10	
A価¥/kg.L	4,630	48,060	48,360	9,690	50,000	17,396	
¥/m ²	2.8～5.6	2.4～9.6	3.6～7.3	2.9～11.6	50～100	3.5～7	
備考						ハイムウ・レンザーの混合剤、処理適期が広い	

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	エイゲン水和剤	クサブロック	バリケードフロアブル	ラポストフロアブル	サーフランDF	コンクルード顆粒水和剤	
一般名	ピリプチカルブ	プロジアミン	プロジアミン	カフェンストール	オリザリン	フルボキサム	
有効成分含有量	47%	65%	40.7%	40%	85%	50%	
メーカー	(原体)	日本曹達	シンジェンタ	シンジェンタ	エス・ディー・エス	ユービーエル	日本曹達
	(登録)	日本曹達	シンジェンタ	シンジェンタ	エス・ディー・エス	ユービーエル	日本曹達
試験名	TSH-888(水和)、RC-8602(47%本剤)	プロジアミン顆粒水和	SYJ-194	CH-900フロアブル	DEH-94T01	DH-024	
登録年月日	平成17年8月3日	平成19年8月1日	平成19年12月26日	平成20年1月23日	平成21年1月21日	平成21年5月27日	
登録番号	21528	21998	22082	22097	22316	22375	
登録上	作物名	日本芝、西洋芝(ハント・ブルー)	日本芝、西洋芝(ハント・ブルー・ハミューダ)	日本芝、西洋芝(ハミューダグラス)	日本芝、日本芝(コウライシハ)*	日本芝	日本芝、西洋芝(ハミューダグラス)
	雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草全般(キク科除く) *一年生イネ科雑草	一年生雑草(キク科を除く)	一年生イネ科雑草、ヒメクグ*	畑地一年生雑草	一年生雑草
	使用時期	芝生育期(雑草発生前)	春・夏・秋期雑草発生前(芝生育期)	秋冬期雑草発生前、 西洋芝・春夏期雑草発生前	雑草発生前	雑草発生前(芝生育期)	雑草発生前
	薬量	0.75~1.5g/m ²	0.12~0.24g/m ² 、 0.08~0.1g/m ² (春期雑草発生前)、 0.08~0.16g/m ² (秋期雑草発生前)	春夏0.125~0.25ml/m ² 、 秋冬0.14~0.26ml/m ² (日本芝)、 0.18~0.26ml/m ² (西洋芝)	0.25~0.5ml/m ²	0.1~0.2g/m ²	0.15~0.3g/m ²
	水量	0.2~0.25L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²	0.2~0.3L/m ²
	使用方法	散布	全面土壌処理	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌処理
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:マウス5,000以上	普:マウス15,000以上	普:ラット♂♀>5,000	普:ラット>5,000	普:ラット・マウス5,000以上	普:ラット♀>2,000	
魚毒性TLm (ppm)	A:コイ11以上	コイ>40以上(原体)	コイ139(96h)	B:コイ3.8(96h)	B:コイ118	コイ4.2	
水溶解度	0.32	0.03	0.03	2.5(20℃)	2.6(25℃)	2.42	
半減期					23~50日(圃場)		
雑草スペクトラム	一年生イネ科	一年生イネ科、広葉	一年生イネ科・広葉(キク科を除く)	一年生イネ科雑草>広葉(キク科を除く)	一年生イネ科、広葉	一年生雑草	
樹木等への影響	葉害無し	葉害無し	葉害無し	特になし	安全性大	春先の新梢展開時は注意	
洋芝への影響	ハント・ケンタッキー安全		安全	使用しない	使用しない	安全性大	
作用機作	根部>基部>茎葉吸収移行型、 土壌処理型	吸収根部土壌処理型、細胞分裂阻害	土壌処理型、細胞分裂阻害	細胞分裂阻害	細胞分裂阻害	細胞壁の合成を阻害	
効果	発現						
	完成						
	残効	90日以上	150~180日以上	150~180日	100日程度	90~120日(春)、150~180日(秋)	120日以上(春)、180日以上(秋)
	芝安全性				安全性大(日本芝)	日本芝に安全性大	日本芝への安全性大
流通	ニッソーグリーン	シンジェンタ特約店	シンジェンタ特約店	丸和バイオケミカル	ユービーエルジャパン	ニッソーグリーン	
包装	500g×20	250g×10	500ml×10	500ml×12	500g×10	500g×10	
A価¥/kg.L	11,550	40,000	23,200	14,700	44,000	28,600	
¥/m ²	8.7~17.3	3.2~9.6	2.9~6	3.7~7.4	4.4~8.8	4.3~8.6	
備考	殺菌剤の登録も有り	グリーンでは使用しない	グリーンでは使用しない	根に影響が少なく芝張り直後使用可			

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ウィードロック	シバッチ乳剤	カーブSC	スペクタクルフロアブル	アビシテムフロアブル	スパーダ顆粒水和剤	
一般名	オリザリン	S-メトラクロール	プロピザミド	インダジフラム	エトベンザニド	フェノキサスルフォン	
有効成分含有量	15%	83.7%	36%	19.1%	35%	75%	
メーカー	(原体)	ユービーエル	シンジェンタ	コルテバ	バイエルクロップサイエンス	保土谷化学	クミアイ化学
	(登録)	丸和バイオケミカル	シンジェンタ	コルテバ	エンバイロサイエンス	理研グリーン	理研グリーン
試験名	HPW-103	SYJ-111乳剤	DAH-0712	BEH-507	HPW-106	KUH-114	
登録年月日	平成22年4月21日	平成22年10月13日	平成23年7月20日	平成24年4月6日	平成24年10月24日	平成26年5月16日	
登録番号	22671	22791	22946	23066	23149	23472	
登録上	作物名	日本芝(生産圃場、ゴルフ場)	日本芝、日本芝(シバ・コウライ・ヒメコウライ)	日本芝	日本芝	西洋芝(ベントグラス)、日本芝(コウライシバ)	日本芝*、西洋芝(バーミューダ)**、日本芝(コウライシバ)***
	雑草	一年生雑草	一年生雑草、ヒメクグ(コウライ)	一年生雑草、スズメノカタビラ	一年生雑草	メヒシバ	一年生イネ科雑草***、メヒシバ**、ヒメクグ***
	使用時期	芝生育期雑草発生前	雑草発生前、ヒメクグ発生前～発生前初期	雑草発生前、芝生育期(秋冬期スズメノカタビラ発生前初期)	雑草発生前	芝生育期(メヒシバ発生前～発生前初期)	芝生育期(雑草発生前)*、一年生イネ科雑草・秋冬期芝生育期(雑草発生前)**、春夏期芝生育期(メヒシバ発生前**・ヒメクグ発生前～発生前初期***)
	薬量	0.6～0.8ml/m ²	0.2～0.4ml/m ²	0.4～0.6ml/m ²	0.02～0.03ml/m ²	1～2ml/m ²	0.15～0.3g/m ²
	水量	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.2～0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット>5,000	普:ラット♂5,000・♀2,515(LD50)、ウサギ♂♀>2,000(LD50)	普:>5,000	普:ラット♀≥5,000	普:ラット2,000	普:ラット♀>2,000	
魚毒性TLm (ppm)	A:コイ>1,000	A:コイ9.3(LC50)(96h)、ミンコ9.3(EC50)(48h)	コイ5.73(96h)	コイ4.74(製剤)(96h)	コイ>1,000	コイ>1,000(96h)	
水溶解度	2.6(20℃)	480(25℃)			0.923mg/L(25℃)	0.17mg/L(20℃)	
半減期	23～50日(圃場)					22～36日(土壌中)	
雑草スペクトラム	一年生イネ科、広葉	イネ科、カヤツリ科、広葉	イネ科、広葉(キク科を除く)	一年生雑草	メヒシバ	一年生イネ科雑草、メヒシバ	
樹木等への影響	安全性大	安全性大(フジは直接散布を避ける)		低い	なし	安全性高い	
洋芝への影響	使用しない	薬害のおそれあり	強	影響強い	安全性高い	影響小(直接散布しない)	
作用機作	細胞分裂阻害	超長鎖脂肪酸合成阻害	細胞分裂阻害、土壌処理型	セルロース生合成阻害	タンパク質生合成阻害	VLCFAE阻害剤	
効果	発現				1～2週間		
	完成				1ヶ月		
	残効	90～120日(春)、150～180日(秋)	約60日	120日	150～180日(秋)、90～120日(春)	40～45日	100～120日
	芝安全性	日本芝に安全性大			日本芝に対する安全性大	安全性高い	日本芝、バーミューダグラスに安全
流通	丸和バイオケミカル	シンジェンタ特約店	丸和バイオケミカル	エンバイロサイエンス	理研グリーン	理研グリーン	
包装	1L×12	1L×6	1L×10	250ml×2	1L×6	500g×8	
A価¥/kg.L	4,500	8,500	6,800	195,500	23,400	24,000	
¥/m ²	2.7～3.6	1.7～3.4	2.7～4.1	3.9～5.9	23.4～46.8	3.6～7.2	
備考							

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ポアキュア	プロバイドEC	ソリストSC	ロングパワー顆粒水和剤	イマゾーン	アダッシュ顆粒水和剤	
一般名	メチオゾリン	IPC	ピロキサスルホン	オキサジクロメホン	イマズスルフロン オキサジクロメホン	プロピザミド	
有効成分含有量	25%	50%	36.3%	48%	18% 12%	50%	
メーカー	(原体) Moghu Research Center	保土谷化学	クミアイ化学	全農	住友化学、全農	ユービーエル	
	(登録) エス・ディー・エス	保土谷化学	理研グリーン	全農	レインボー薬品	ユービーエル	
試験名	SB-201	HPW-112	RGH-1302		SG-115	UPH-003	
登録年月日	平成28年7月1日	平成28年7月6日	平成28年7月6日	平成29年4月12日	平成30年6月13日	平成31年4月10日	
登録番号	23809	23812	23810・23811	23936	24084	24218	
登録上	作物名	西洋芝(ヘントグラス・ケンタッキーブルーグラス)、日本芝(コウライシハ)	日本芝	日本芝、センチピードグラス*	日本芝、西洋芝(ハーフ・ミュンダグラス)	日本芝	日本芝
	雑草	スズメノカタビラ(ヘント)、一年生イネ科雑草	スズメノカタビラ、一年生雑草*	一年生雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草	一年生雑草
	使用時期	春夏期雑草生育期(スズメノカタビラ)、春夏期雑草発生前・秋冬期雑草発生前～発生初期・雑草発生前(ヘントイネ科)、芝生育期(雑草発生前)(ケンタ・コウライ)	秋期芝生育期(スズメノカタビラ葉期まで)、秋冬期芝生育期(雑草発生前～発生初期)*	秋期芝生育期(雑草発生前～発生初期)、センチピードグラス生育期(雑草発生前)*	雑草発生前・芝生育期	芝生育期(雑草発生前)	芝生育期(雑草発生前～発生初期)
	薬量	0.2～0.4ml/m ²	0.4～0.8ml/m ²	0.1～0.2ml/m ² 、0.15～0.3ml/m ² *	0.075～0.125g/m ²	0.2～0.4ml/m ²	0.3～0.5g/m ²
	水量	0.2～0.6L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.1～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌処理	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布	全面土壌散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット>2,000	普:ラット>2,000	普:ラット♀>2,000	普:ラット・マウス>5,000	普:ラット>2,000	普:ラット5,000以上	
魚毒性TLm (ppm)	コイ3,605(96h)	コイ23(96h)(製剤)	コイ>1,000(96h)	コイ>1,000(LC50)(製剤)(96h)	コイ>1,000	コイ336(96h)	
水溶解度		103mg/L	3.48mg/L(20℃)	0.15	155.6、0.15(20℃)	11	
半減期		46～68日(圃場)	5.1～27.5日(土壌中)		約1日、2.10～2.16日	2.9～7.7日	
雑草スペクトラム	スズメノカタビラ、一年生イネ科雑草	一年生雑草全般(キク科除く)	一年生雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草	一年生イネ科、広葉	
樹木等への影響	安全性大		安全性高い	安全性大	ドリフト注意		
洋芝への影響	安全性高い	使用しない	影響大	薬害の恐れ有り	寒冷地型芝生には薬害	薬害のおそれあり	
作用機作	細胞壁合成阻害	細胞分裂の阻害	VLCFAE阻害剤	ジベレリン合成阻害他	ALS阻害、ジベレリン代謝阻害	微小管重合阻害	
効果	発現	遅い				遅い	
	完成	遅い				遅い	
	残効		90～120日	100～120日	120日以上	120日以上	60～80日(春)、90～120日(秋)
	芝安全性	安全性高い	日本芝に安全	日本芝に安全	安全性大	安全性大	日本芝に対して安全性が高い
流通	エス・ディー・エス、丸和バイオケミカル	丸和バイオケミカル	理研グリーン	丸和バイオケミカル	レインボー薬品	シンジェンタ	
包装	100ml×10	1L×12	500ml×4	500g×4	500ml×8	1kg×10	
A価¥/kg.L	129,000	4,160	41,480	53,600	19,950	8,772	
¥/m ²	25.8～51.6	1.7～3.3	4.1～12.4	4～6.7	4～8	2.6～4.4	
備考							

芝生適用登録除草剤(土壌処理剤)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	レンザー	パワーフォワードSC	オレオールフロアブル	フルハウスターフフロアブル	キリガノ水和剤	
一般名	レナシル	オキサジクロメホン	オキサジアゾン	オキサジクロメホン	DCBN	
有効成分含有量	80%	30%	34.8%	30%	50.0%	
メーカー	(原体)	FMC	全農	バイエルクロップサイエンス	全農	保土谷化学
	(登録)	FMC	理研グリーン	エンバイロサイエンス	エンバイロサイエンス	保土谷UPL
試験名	H-634		BEH-20315			
登録年月日	令和1年12月24日	令和4年2月24日	令和4年8月24日	令和4年12月7日	令和5年3月22日	
登録番号	24143	24619	24634	24681	24756	
登録上	作物名	日本芝(コウライシバ)	日本芝	日本芝	日本芝	
	雑草	一年生雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草	一年生イネ科雑草	ヒメクグ・スギナ・多年生広葉雑草、一年生広葉雑草、一年生雑草
	使用時期	秋期雑草発生前	雑草発生前(芝生育期)	雑草発生前(芝生育休止期)	雑草発生前(芝生育期)	春期芝生育期(雑草発生前～雑草発生初期)、秋期芝生育期(雑草発生前～雑草発生初期)
	薬量	0.2～0.25g/m ²	0.075～0.15ml/m ²	0.4～0.6ml/m ²	0.075～0.15ml/m ²	1～2g/m ² (ヒメクグ・スギナ・多年生)、 1g/m ² (一年生広葉)、 0.5～1g/m ² (一年生雑草)
	水量	0.25～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.2～0.3L/m ²	0.15～0.2L/m ²
	使用方法	全面土壌散布	全面土壌散布	散布	全面土壌散布	局所散布(ヒメクグ・スギナ・多年生)、散布
急性経口毒性LD50 (mg/kg)	普:ラット♂>11,000	普:ラット♂♀>5,000	普:>2,000	普:>5,000	普:300<LD50≤2,000	
魚毒性TLm (ppm)	A:コイ>1,000	コイ>1,000(96h)	コイLC50>0.476(96hr)	コイLC50>1,000(96hr)	コイLD50 83.2	
水溶解度	3	0.15	0.57	0.15	1.05mg/L	
半減期	約30日		25～70日(圃場)			
雑草スペクトラム	イネ科、広葉広範囲	一年生イネ科雑草	一年生雑草	一年生イネ科雑草	一年生雑草、多年生広葉雑草、ヒメクグ	
樹木等への影響	花木に登録有	特になし	特になし	特になし		
洋芝への影響	強	薬害の恐れ有り	薬害の恐れ有り	薬害の恐れ有り	使用しない	
作用機作	光合成阻害及び 酵素タンパク質合成阻害	ジベレリン生合成阻害他	光要求型 PPO阻害	ジベレリン生合成阻害他	セルロース合成阻害	
効果	発現	約3日				
	完成	約2週間				
	残効	約90日	120日以上	90日程度	120日以上	
	芝安全性		日本芝に安全性大	安全性大	安全性大	ノシバに使用する場合は、少な目に使用する
流通	丸和バイオケミカル	理研グリーン	エンバイロサイエンス	エンバイロサイエンス	東日本肥料	
包装	100g×60	500ml×2	1L×12	500ml×2	500g×8	
A価¥/kg.L	21,160	46,000	10,000	48,360		
¥/m ²	4.2～5.3	3.5～6.9	4～6	3.6～7.3		
備考	薬量は控え目に!					